

診断書（発達障害・精神障害）

この診断書は、修学上・生活上の合理的配慮を考えるための資料です。

氏名			生年月日 西暦 (S・H)年 月 日
住所	〒		
診断名	英語表記も記載してください。		
障害の状態	療育手帳	無 有（区分： 、取得：西暦 (S・H・R)年 月 日）	
	精神障害者保健福祉手帳	無 有（ 級、取得：西暦 (S・H・R)年 月 日）	
	障害等の状態について、参考となる経過・現症・処方薬等を具体的に記載してください。 合理的配慮に関する困難と必要な配慮について、別紙に記載してください。		
検査結果等	検査名称 検査結果を添付してください（実施日は、原則として申請時の3年以内）。 ・ (実施日：西暦 (R)年 月 日) ・ (実施日：西暦 (R)年 月 日) ・ (実施日：西暦 (R)年 月 日)		
診断者	上記の通り診断する。 西暦 (R)年 月 日 医師名 (印) (診療科名) 医療機関名・所在地・電話番号		

別紙 修学上・生活上の困難とそれに対する配慮

学生の状況を踏まえ、修学上・生活上の困難とそれに対して必要な配慮項目に○(特に必要な配慮項目は◎)を付けてください。

【記入例】

	修学上・生活上の困難 (症状を含む)
	対人場面での強い不安や緊張がある
	吃音・場面緘黙がある
○	対人コミュニケーションが困難である

場面		必要な配慮
修学	○	発言を求める際の配慮：事前に指名を予告する等
修学	◎	発表形態の配慮：個別で実施等
修学		オンライン授業の実施

	修学上・生活上の困難 (症状を含む)
	感覚過敏がある
	対人場面での強い不安や緊張がある
	吃音・場面緘黙がある
	対人コミュニケーションが困難である
	想像力が低く、段取りが困難である
	タイムスケジュール管理が困難である
	抽象的な指示・内容の理解が困難である
	注意・集中することが困難である
	書字が困難である
	疲れやすい
	体調不良等により遅刻・欠席する
	通院により遅刻・欠席する

場面		必要な配慮
修学		座席の確保：前方・後方・出入り口付近等
修学		授業内容の提供：授業資料・重要情報の送付等
修学		グループワーク等での配慮：人数調整・グループ間の距離の確保・司会進行の明確化・1人ずつの発言・挙手して名乗ってからの発言等
修学		説明箇所の明確化：指示語をなるべく使用しない等
修学		課題内容・指示の具体化：スモールステップで進める等
修学		授業内容や重要情報の視覚的提示
修学		発言を求める際の配慮：事前に指名を予告する等
修学		発表形態の配慮：個別で実施等
修学		支援機器の使用許可
修学		オンライン授業の実施
修学		途中入退室の許可
修学		板書の写真撮影の許可
修学		授業の録音・録画の許可
修学		遅刻・欠席回の学修のレポート課題等での代替
修学		課題提出期限の延長
修学		試験時間の延長
修学		発表・試験・実験の実施日程の調整
生活		クールダウンのための休養室の確保
生活		災害時個別対応書の作成：避難計画等

上記以外に困難や必要な配慮があれば、具体的に記載してください。

修学上・生活上の困難(症状を含む)	必要な配慮